

平成27年度東京大学医科学研究所共同研究採択課題は下記のとおりです。また、採択された大学、研究機関等の研究者等には、「医科研拠点研究員」の名称を付与しま

新規申請課題(27課題)

※領域欄は「1: 先端医療研究開発共同研究領域」「2: 疾患システム共同研究領域」「3: 感染症・免疫共同研究領域」

年度	IDNo.	領域	申請者	職名	申請機関	受入教員	職名	課題名	研究組織(所属機関、職名)※敬称省略、順不同
2015	141	1	古郷 幹彦	教授	大阪大学大学院	藤堂 具紀	教授	単純ヘルペスウイルス1型を用いた口腔癌のウイルス療法	古郷幹彦(大阪大学、教授)、内橋俊大(同、医員)、須河内昭成(同、大学院生)、中原寛和(同、招聘教員/大阪市立大学、准教授)、藤堂具紀(本所、教授)
2015	142	1	福田 隆浩	科長	国立がん研究センター中央病院	東條 有伸	教授	成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)における同種造血幹細胞移植後の微小残存病変および免疫機能モニタリング試験	福田隆浩(国立がん研究センター中央病院、科長)、藤重夫(同、医員)、田野崎隆二(同、科長)、井上明威(熊本大学、医員)、東条有伸(本所、教授)、内丸薫(同、准教授)、渡辺信和(同、特任准教授)
2015	143	1	後藤 典子	教授	金沢大学がん進展制御研究所	東條 有伸	教授	乳がん幹細胞の安定化と可塑性鍵分子を標的とするがん根治療法の開発	後藤典子(金沢大学、教授)、東条有伸(本所、教授)
2015	245	2	村上 晶	教授	順天堂大学大学院	渡邊すみ子	特任教授	Leber先天盲にて見いだされたNMNAT1の遺伝子変異の視細胞変性分子基盤の解析	村上晶(順天堂大学、教授)、藤巻拓郎(同、准教授)、渡邊すみ子(本所、特任教授)、吉川友貴(同、修士大学院生)
2015	246	2	大木 理恵子	主任研究員	国立がん研究センター研究所	市瀬 広武	講師	神経内分泌腫瘍(NET)のがん抑制遺伝子PHLDA3欠損マウス作製によるNET発症メカニズムの解明	大木理恵子(国立がん研究センター研究所、主任研究員)、市瀬広武(本所、講師)
2015	247	2	進藤 英雄	副プロジェクト長	国立国際医療研究センター	高祖 秀登	特任助教	生体膜リン脂質制御による視覚機能制御の解明	進藤英雄(国立国際医療研究センター、副プロジェクト長)、高橋佳一(同、研究員)、高祖秀登(本所、特任助教)
2015	248	2	星野 大輔	主任研究員	神奈川県立がんセンター臨床研究所	村上 善則	教授	二光子顕微鏡を用いたがん細胞薬剤耐性獲得機構のin vivo光イメージング	星野大輔(神奈川県立がんセンター、主任研究員)、越川直彦(同、部長)、村上善則(本所、教授)、伊東剛(同、助教)
2015	249	2	西川 喜代孝	教授	同志社大学	井上 純一郎	教授	Ca <sup>2+</sup> /カルモデュリン依存性プロテインキナーゼを標的とした破骨細胞分化制御法の確立	西川喜代孝(同志社大学、教授)、井上純一郎(本所、教授)
2015	250	2	越川 直彦	部長	神奈川県立がんセンター臨床研究所	尾山 大明	准教授	膜型MMP(MT1-MMP)とその周辺分子によるがん悪性化の分子機構の解明	越川直彦(神奈川県立がんセンター、部長)、星野大輔(同、主任研究員)、峰岸知子(同、研究員)、宮城洋平(同、部長)、尾山大明(本所、准教授)、秦裕子(同、技術専門員)
2015	251	2	藤田 美歌子	准教授	熊本大学	井上 純一郎	教授	TRAF6の機能を阻害する低分子化合物の創製	藤田美歌子(熊本大学、准教授)、大家雅巳(同、教授)、モハメド オスマン ラドワン(同、大学院生)、井上純一郎(本所、教授)
2015	252	2	高橋 明格	研究員	沖縄科学技術大学院大学	近藤 小貴	助教	肝臓機能維持・肝臓疾患におけるmRNA分解機構の意義	高橋明格(沖縄科学技術大学院大学、研究員)、鈴木亨(同、グループリーダー)、近藤小貴(本所、助教)
2015	253	2	小嶋 絢	助教	立命館大学	井上 純一郎	教授	NF-κB活性化経路におけるTRAF6刺激依存的新規Lys63型ポリユビキチン化タンパク質の網羅的解析	小嶋絢(立命館大学、助教)、井上純一郎(本所、教授)
2014	254	2	飯笹 久	助教	島根大学	吉田 進昭	教授	ゲノム編集を用いたRNA編集酵素ADAR1点変異マウスの作製	飯笹久(島根大学、助教)、金廣優一(同、助教)、吉田進昭(本所、教授)
2015	255	2	末次 志郎	教授	奈良先端科学技術大学院大学	村上 善則	講師	細胞の突起形成に関わる遺伝子のがん形成における役割	末次志郎(奈良先端科学技術大学院大学、教授)、瑞京子(同、助教)、村上善則(本所、教授)
2015	347	3	中川 一路	教授	京都大学大学院	津本 浩平	教授	細菌表層機能分子をターゲットとした分子標的薬開発	中川一路(京都大学、教授)、野澤孝志(同、助教)、相川知宏(同、JSPS特別研究員)、津本浩平(本所、教授)、長門石暁(同、助教)
2015	348	3	小柴 琢己	准教授	九州大学大学院	一戸 猛志	准教授	インフルエンザウイルス由来・タンパク質と宿主ミトコンドリアとの相互作用解析	小柴琢己(九州大学、准教授)、吉住拓馬(同、大学院生)、一戸猛志(本所、准教授)、山崎達也(同、特任研究員)
2015	349	3	若菜 茂晴	チームリーダー	理化学研究所バイオリソースセンター	三宅 健介	教授	自然炎症を基盤とするマウスの遺伝的表現型と関連遺伝子群の探索	若菜茂晴(理化学研究所、チームリーダー)、三浦郁生(同、開発技師)、三宅健介(本所、教授)、福井竜太郎(同、助教)
2015	350	3	杉田 征彦	博士研究員	沖縄科学技術大学院大学	河岡 義裕	教授	エボラウイルス・ヌクレオキャプシドの極低温電子顕微鏡解析	杉田征彦(沖縄科学技術大学院大学、博士研究員)、河岡義裕(本所、教授)
2015	351	3	牧野 晶子	特定助教	京都大学ウイルス研究所	河岡 義裕	教授	内在性フィロウイルスVP35様配列の機能解析	牧野晶子(京都大学、特定助教)、小池悠斗(同、修士大学院生)、朝永啓造(同、教授)、河岡義裕(本所、教授)
2015	352	3	熊谷 雄太郎	特任助教	大阪大学免疫学フロンティア研究センター	中井 謙太	教授	抗ウイルス免疫応答の網羅的データからのモデリングと制御	熊谷雄太郎(大阪大学、特任助教)、鈴木穰(東京大学、教授)、中井謙太(本所、教授)、Ashwini Patil(同、講師)
2015	353	3	安田 二郎	教授	長崎大学熱帯医学研究所	中江 進	准教授	遺伝子改変マウスを用いたBST-2の機能解明	安田二郎(長崎大学、教授)、浦田秀造(同、助教)、坂部沙織(同、助教)、中江進(本所、准教授)

2015	354	3	呉羽 拓	研究員	沖縄科学技術大学院大学	秋山 泰身	准教授	胸腺上皮細胞およびT細胞におけるCCR4-NOT複合体の生理学的意義の解明	呉羽拓(沖縄科学技術大学院大学、研究員)、秋山泰身(本所、准教授)
2015	355	3	東 秀明	教授	北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター	三室 仁美	准教授	病原性 <i>Bacillus</i> 属細菌の病態発症機構の解明と診断法の確立	東秀明(北海道大学、教授)、三室仁美(本所、准教授)
2015	356	3	高村 祥子	教授	愛知医科大学	三宅 健介	教授	新規B細胞性リンパ腫制御機構の解明	高村祥子(愛知医科大学、教授)、Erdenezaya Odkhuu(同、助教)、一文字功(同、助教)、森田奈央子(同・大学院生)、三宅健介(本所、教授)
2015	357	3	野地智法	准教授	東北大学大学院	清野 宏	教授	乳腺組織におけるIgA産生機序の解明	野地智法(東北大学、准教授)、阿部未来(同、大学院生)、新實香奈枝(同、大学院生)、清野宏(本所、教授)
2015	358	3	柳井 徳磨	教授	岐阜大学	甲斐 知恵子	教授	動物由来病原体のサルにおける感染実験	柳井徳磨(岐阜大学、教授)、田中海里(同、大学5年生)、中井裕(東北大学、教授)、和田崇之(長崎大学、助教)、吉田志緒美(同、大学院生)、村上智亮(東京農工大学、助教)、福田康弘(東北大学、助教)、甲斐知恵子(本所、教授)、倉石武(同、特任助教)
2015	359	3	大嶋 佑介	助教	愛媛大学大学院	佐藤 毅史	特任准教授	各種がんモデルの <i>in vivo</i> 蛍光イメージングによる自然免疫機能の解析	大嶋佑介(愛媛大学、助教)、飯村忠浩(同、准教授)、今村健志(同、教授)、佐藤毅史(本所、特任准教授)

継続申請課題(28課題)

年度	IDNo.	領域	申請者	職名	申請機関	受入教員	職名	課題名	研究組織(所属機関、職名)※敬称省略、順不同
2013	126	1	宇都宮 與	客員教授	鹿児島大学	東條 有伸	教授	成人T細胞白血病(ATL)における癌幹細胞マーカーの探索とその細胞生物学的解析	宇都宮與(鹿児島大学、客員教授)、中野伸亮(今村病院分院、部長)、東条有伸(本所、教授)、石垣知寛(同、クリニカルリサーチフェロー)
2013	127	1	瀬藤 光利	教授	浜松医科大学	松田 浩一	准教授	質量顕微鏡法による肝癌、食道癌バイオマーカーの探索	瀬藤光利(浜松医科大学、教授)、松田浩一(本所、准教授)
2013	132	1	海堀 昌樹	准教授	関西医科大学	藤堂 具紀	教授	ヒト肝細胞がんに対する増殖型遺伝子組換えウイルスを用いた新治療法の開発研究	海堀昌樹(関西医科大学、准教授)、奥村忠芳(同、非常勤講師)、中竹利知(同、大学院生)、中村有佑(同、大学院生)、津田匠(同、大学院生)、上山庸佑(同、大学院生)、藤堂具紀(本所、教授)
2013	135	1	藤山 佳秀	理事	滋賀医科大学	釣田 義一郎	講師	難治性固形がんに対する新規がんペプチドワクチン療法の開発研究	藤山佳秀(滋賀医科大学、理事)、醍醐弥太郎(同、教授)、寺本晃治(同、特任講師)、釣田義一郎(本所、講師)、湯地晃一郎(同、特任准教授)、安井寛(同、特任講師)、松田浩一(同、准教授)、高野淳(同、特任講師)
2014	137	1	門脇 則光	教授	香川大学	藤堂 具紀	教授	造血器腫瘍に対するHSV-1ウイルス療法の開発	門脇則光(香川大学、教授)、錦織桃子(京都大学、助教)、河原真大(同、助教)、川瀬有美(同、大学院生)、石野亮(同・大学院生)、藤堂具紀(本所、教授)
2014	138	1	鳥越 俊彦	准教授	札幌医科大学	東條 有伸	教授	大腸がん幹細胞特異的抗原ペプチドの同定とがんワクチン臨床試験	鳥越俊彦(札幌医科大学、准教授)、佐藤昇志(同、教授)、廣橋良彦(同、助教)、金関貴幸(同、助教)、Kochin Vitaly(同、博士研究員)、東條有伸(本所、教授)、釣田義一郎(同、講師)、安井寛(同、特任講師)
2014	139	1	武田 伸一	センター長	国立精神・神経医療研究センター	田中 廣壽	教授	骨格筋量調節機構に肥満が及ぼす影響の解析	武田伸一(国立精神・神経医療研究センター、センター長)、伊藤尚基(同、流動研究員)、田中廣壽(本所、教授)、清水宣明(同、特任研究員)
2013	227	2	高松 信彦	教授	北里大学	小林 郷介	助教	哺乳動物の冬眠における概年性の遺伝子発現制御機構の解明	高松信彦(北里大学、教授)、塚本大輔(同、助教)、櫻井由紀奈(同、大学院生)、小林郷介(本所、助教)
2013	228	2	徳永 暁憲	助教	大分大学全学推進機構	吉田 進昭	教授	ポリコム遺伝子群による神経幹細胞の分化制御機構の解明	徳永暁憲(大分大学、助教)、吉田進昭(本所、教授)
2013	229	2	本田 浩章	教授	広島大学原爆放射線科学研究所	北村 俊雄	教授	遺伝子改変マウスを用いた白血病関連遺伝子 <i>Asxl1</i> の機能解析と疾患モデルの作製	本田浩章(広島大学、教授)、上田健(同、助教)、山崎憲政(同、技官)、北村俊雄(本所、教授)、井上大地(同、大学院生)
2013	230	2	菊池 秀彦	助教	宮崎大学	三室 仁美	准教授	ヒストンアセチル化酵素群によるエピジェネティック制御機構の解析および遺伝子疾患発症への関与の検討	菊池秀彦(宮崎大学、助教)、栗林太(川崎医科大学、教授)、三室仁美(本所、准教授)
2013	231	2	森 泰昌	研究員	国立がん研究センター研究所	吉田 進昭	教授	内在性遺伝子発現の制御を可能とする新規ノックインマウスによるポリコム遺伝子 <i>Bmi1</i> の成体幹細胞の未分化状態維持機構の解明	森泰昌(国立がん研究センター研究所、研究員)、吉田進昭(本所、教授)
2013	232	2	本村 政勝	教授	長崎総合科学大学	山梨 裕司	教授	筋無力症の分子病態の解明と治療技術の開発	本村政勝(長崎総合科学大学、教授)、山梨裕司(本所、教授)
2013	233	2	原田 浩徳	准教授	順天堂大学	北村 俊雄	教授	造血器腫瘍発症に関わる遺伝子発現制御因子異常の解明	原田浩徳(順天堂大学、准教授)、原田結花(同、助教)、北村俊雄(本所、教授)
2014	238	2	上久保 靖彦	准教授	京都大学大学院	北村 俊雄	教授	エピジェネティクス関連遺伝子をターゲットとした白血病・MDS新規治療戦略の確立	上久保靖彦(京都大学、准教授)、足立壮一(同、教授)、北村俊雄(本所、教授)
2014	239	2	生谷 尚士	客員講師	富山大学	中江 進	准教授	IL-33投与による肺高血圧症動物モデルを用いた疾患原因遺伝子の同定とその解析	生谷尚士(富山大学、客員講師)、中江進(本所、准教授)
2014	240	2	大橋 若奈	助教	富山大学大学院	渡会 浩志	特任准教授	消化管上皮腫瘍形成における亜鉛トランスポーターの役割の解析	大橋若奈(富山大学、助教)、渡会浩志(本所、特任准教授)、長谷耕二(同、客員教授)

2014	241	2	飯村 忠浩	准教授	愛媛大学プロテオサイエンスセンター	村上 善則	教授	多光子励起および超解像顕微鏡を用いた細胞運動のマルチモーダル蛍光イメージング	飯村忠浩(愛媛大学、准教授)、今村健志(同、教授)、大嶋佑介(同、助教)、村上善則(本所、教授)
2014	242	2	片桐 豊雅	教授	徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター	津本 浩平	教授	新規エストロゲン受容体活性制御分子の生体機能解明と革新的乳癌治療薬の開発	片桐豊雅(徳島大学、教授)、吉丸哲郎(同、助教)、津本浩平(本所、教授)、長門石暁(同、助教)
2014	243	2	大場 基	講師	昭和大学腫瘍分子生物学研究所	村上 善則	教授	肺癌の進展に関わるメンブラン trafficking 制御異常のイメージング解析	大場基(昭和大学、講師)、村上善則(本所、教授)、松原大祐(同、講師)、伊東剛(同、助教)
2013	327	3	島岡 要	教授	三重大学大学院	清野 宏	教授	免疫系と血栓・凝固系とのクロストークによる臓器特異的ホーミングの制御	島岡要(三重大学、教授)、Eun Jeong Park(同、准教授)、岡本貴之(同、助教)、清野宏(本所、教授)、幸義和(同、助教)
2013	328	3	木曾 康郎	教授	山口大学	甲斐 知恵子	教授	新世界ザルの生物学的特性の解明	木曾康郎(山口大学、教授)、日下部健(同、准教授)、加納聖(同、准教授)、吉澤緑(宇都宮大学、教授)、鈴木樹里(京都大学、准教授)、Sri Kantha Sachithanatham(岐阜大学、准教授)、石田貴文(東京大学、准教授)、甲斐知恵子(本所、教授)、倉石武(同、助教)
2013	331	3	國澤 純	プロジェクトリーダー	医薬基盤研究所	清野 宏	教授	腸内免疫環境ネットワークを介した生体制御	國澤純(医薬基盤研究所、プロジェクトリーダー)、長竹貴広(同、研究員)、鈴木英彦(同、研究員)、清野宏(本所、教授)、柴田納央子(同、特任研究員)、神岡真理子(同、大学院生)
2013	332	3	丸山 史人	准教授	京都大学	三室 仁美	准教授	A群レンサ球菌における病原因子獲得機構の時空間的解析	丸山史人(京都大学、准教授)、中川一路(同、教授)、三室仁美(本所、准教授)
2013	333	3	今村 健志	教授	愛媛大学大学院	清野 宏	教授	革新的 <i>in vivo</i> 光イメージングを駆使した粘膜免疫機構における細胞動態とシグナル可視化	今村健志(愛媛大学、教授)、大嶋佑介(同、助教)、飯村忠浩(同、准教授)、齋藤卓(同、助教)、清野宏(本所、教授)
2014	341	3	稲田 健一	准教授	藤田保健衛生大学	伊庭 英夫	教授	慢性炎症、線維化、およびがん化におけるmiRNA-199aの機能解析	稲田健一(藤田保健衛生大学、准教授)、塩竈和也(同、助教)、伊庭英夫(本所、教授)
2014	344	3	西田 圭吾	准教授	鈴鹿医療科学大学	渡会 浩志	特任准教授	細菌感染における亜鉛/亜鉛トランスポーターの役割	西田圭吾(鈴鹿医療科学大学、准教授)、渡会浩志(本所、特任准教授)、長谷耕二(同、客員教授)、尾畑佑樹(同、JSPS特別研究員)
2014	346	3	辻 典子	主任研究員	産業技術総合研究所	三宅 健介	教授	腸管TLRの機能解析	辻典子(産業技術総合研究所、主任研究員)、川島忠臣(キッコーマン株式会社、研究員)三宅健介(本所、教授)、福井竜太郎(同、助教)